

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2008年8月28日から2023年8月15日まで
運用方針	安定した配当等収益の確保と投資信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行います。
主要運用対象	ベビー ファンド モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド受益証券、モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。ただし、直接債券および短期金融商品等に投資する場合もあります。
	マザー ファンド モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド、モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンドの各ページをご参照ください。
組入制限	ベビー ファンド マザーファンド受益証券への投資割合には、制限を設けません。株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への実質投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。株式への実質投資は、新株予約権付社債等の権利行使等により取得した株券等に限ります。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザー ファンド モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド、モルган・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンドの各ページをご参照ください。
分配方針	<毎月分配型>原則として、毎決算時(毎月15日)、ただし、決算日が休業日の場合は翌営業日に、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収益と売買益(評価益を含みます。)等から配当等収益等を中心で安定した分配を行うことを基本とします。ただし、基準価額水準等を勘案して安定分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託者が決定する額を付加して分配する場合があります。(ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないこともあります。)<年2回決算型>原則として、毎決算時(2月15日および8月15日)、ただし、決算日が休業日の場合は翌営業日)に、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収益と売買益(評価益を含みます。)等から基準価額水準等を勘案して分配金額を決定します。(ただし、委託者の判断により分配を行わないこともあります。)収益の分配にあてなかつた利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

運用報告書に関するお問い合わせ先

モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント株式会社
業務部

〒100-8109 東京都千代田区大手町一丁目9番7号
大手町フィナンシャルシティ サウスタワー

電話番号: 03-6836-5140

受付時間: 営業日の午前9時~午後5時

ホームページ: www.morganstanley.com/im/jp

お客様のお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

Morgan Stanley

モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信 (毎月分配型) (年2回決算型)

運用報告書(全体版)

(毎月分配型)

第156期(決算日 2021年9月15日)

第157期(決算日 2021年10月15日)

第158期(決算日 2021年11月15日)

第159期(決算日 2021年12月15日)

第160期(決算日 2022年1月17日)

第161期(決算日 2022年2月15日)

(年2回決算型)

第27期(決算日 2022年2月15日)

受益者のみなさまへ

毎々格別のお引立てにあざかり厚くお礼申し上げます。

さて、「モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信(毎月分配型)」は、第156期～第161期までの決算、「モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信(年2回決算型)」は、第27期の決算を行いましたので当期の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

ミルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信（毎月分配型）

■最近5作成期の運用実績

作成期	(分配落)	基準価額			債券組入比率	債券先物比率	純資産額
		税分配	込金	期騰落率			
第23作成期	132期 (2019年9月17日)	円 4,703	円 10	% 2.9	% 96.7	% —	百万円 2,954
	133期 (2019年10月15日)	4,687	10	△0.1	96.8	—	2,920
	134期 (2019年11月15日)	4,720	10	0.9	97.0	—	2,885
	135期 (2019年12月16日)	4,816	10	2.2	96.6	—	2,871
	136期 (2020年1月15日)	4,866	10	1.2	89.0	—	2,846
	137期 (2020年2月17日)	4,761	10	△2.0	97.9	—	2,703
第24作成期	138期 (2020年3月16日)	4,308	10	△9.3	96.6	—	2,371
	139期 (2020年4月15日)	4,165	10	△3.1	86.2	—	2,283
	140期 (2020年5月15日)	4,150	10	△0.1	96.6	—	2,260
	141期 (2020年6月15日)	4,392	10	6.1	96.5	—	2,382
	142期 (2020年7月15日)	4,403	10	0.5	96.9	—	2,361
	143期 (2020年8月17日)	4,361	10	△0.7	97.0	—	2,313
第25作成期	144期 (2020年9月15日)	4,360	10	0.2	96.8	—	2,304
	145期 (2020年10月15日)	4,264	10	△2.0	97.1	—	2,241
	146期 (2020年11月16日)	4,356	10	2.4	96.5	—	2,242
	147期 (2020年12月15日)	4,427	10	1.9	96.7	—	2,244
	148期 (2021年1月15日)	4,458	10	0.9	97.2	—	2,240
	149期 (2021年2月15日)	4,539	10	2.0	97.4	—	2,243
第26作成期	150期 (2021年3月15日)	4,582	10	1.2	96.8	—	2,248
	151期 (2021年4月15日)	4,553	10	△0.4	96.7	—	2,211
	152期 (2021年5月17日)	4,644	10	2.2	86.8	—	2,237
	153期 (2021年6月15日)	4,683	10	1.1	87.2	—	2,226
	154期 (2021年7月15日)	4,551	10	△2.6	97.3	—	2,125
	155期 (2021年8月16日)	4,503	10	△0.8	97.2	—	2,079
第27作成期	156期 (2021年9月15日)	4,539	10	1.0	97.1	—	2,080
	157期 (2021年10月15日)	4,629	10	2.2	97.3	—	2,100
	158期 (2021年11月15日)	4,525	10	△2.0	97.1	—	2,022
	159期 (2021年12月15日)	4,264	10	△5.5	96.8	—	1,877
	160期 (2022年1月17日)	4,395	10	3.3	97.0	—	1,918
	161期 (2022年2月15日)	4,436	10	1.2	96.9	—	1,923

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

(注4) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指標がないためベンチマークおよび参考指標は設定しておりません。

ミルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信（毎月分配型）

■ 当作成期中の基準価額等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債券組入比率	債券先物比率
		騰 落 率	%		
第156期	(期 首) 2021年8月16日	円 4,503	% —	% 97.2	% —
	8月末	4,541	0.8	97.5	—
	(期 末) 2021年9月15日	4,549	1.0	97.1	—
第157期	(期 首) 2021年9月15日	4,539	—	97.1	—
	9月末	4,510	△0.6	97.3	—
	(期 末) 2021年10月15日	4,639	2.2	97.3	—
第158期	(期 首) 2021年10月15日	4,629	—	97.3	—
	10月末	4,591	△0.8	97.0	—
	(期 末) 2021年11月15日	4,535	△2.0	97.1	—
第159期	(期 首) 2021年11月15日	4,525	—	97.1	—
	11月末	4,313	△4.7	96.7	—
	(期 末) 2021年12月15日	4,274	△5.5	96.8	—
第160期	(期 首) 2021年12月15日	4,264	—	96.8	—
	12月末	4,406	3.3	96.8	—
	(期 末) 2022年1月17日	4,405	3.3	97.0	—
第161期	(期 首) 2022年1月17日	4,395	—	97.0	—
	1月末	4,378	△0.4	96.9	—
	(期 末) 2022年2月15日	4,446	1.2	96.9	—

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

(注4) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指標がないためベンチマークおよび参考指標は設定しておりません。

ミルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信（年2回決算型）

■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			債券組入比率	債券先物比率	純資産額
	(分配落)	税 分 配	込 金			
23期（2020年2月17日）	円 9,338	円 0	% 5.3	% 97.5	% —	百万円 874
24期（2020年8月17日）	8,635	0	△7.5	97.5	—	781
25期（2021年2月15日）	9,123	0	5.7	98.0	—	772
26期（2021年8月16日）	9,169	0	0.5	97.6	—	765
27期（2022年2月15日）	9,157	0	△0.1	97.5	—	706

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

(注4) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指標がないためベンチマークおよび参考指標は設定しておりません。

■当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額		債券組入比率	債券先物比率
	騰 落 率			
(期 首) 2021年8月16日	円 9,169	% —	% 97.6	% —
8月末	9,248	0.9	98.0	—
9月末	9,205	0.4	98.0	—
10月末	9,394	2.5	97.8	—
11月末	8,841	△3.6	97.6	—
12月末	9,055	△1.2	97.8	—
2022年1月末	9,017	△1.7	98.0	—
(期 末) 2022年2月15日	9,157	△0.1	97.5	—

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

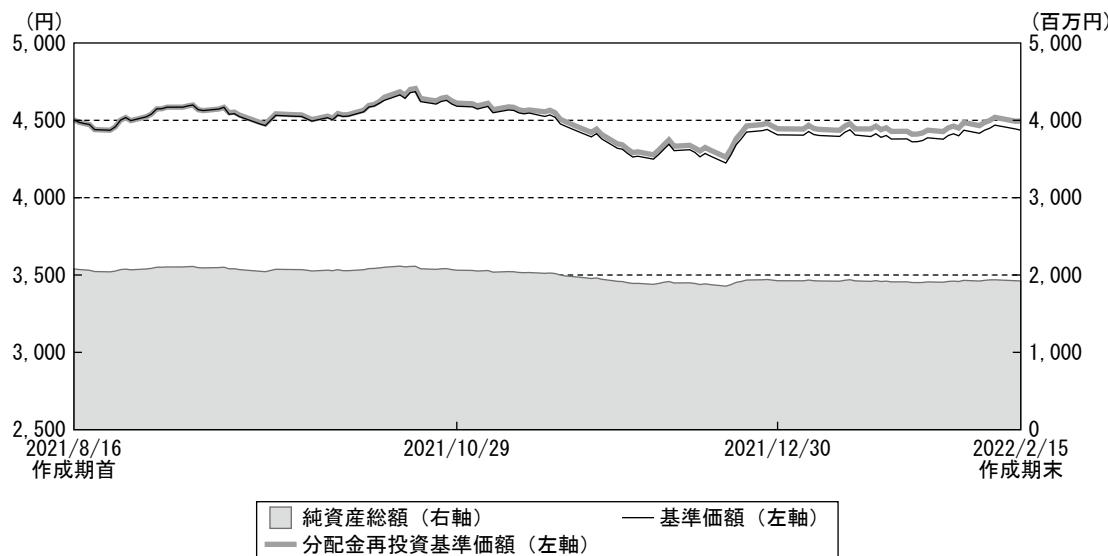
(注3) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しています。

(注4) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指標がないためベンチマークおよび参考指標は設定しておりません。

■運用経過（2021年8月17日から2022年2月15日まで）

モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信（毎月分配型）

基準価額等の推移



第156期首：4,503円

第161期末：4,436円（既払分配金60円）

騰落率：△0.2%（分配金再投資ベース）

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。分配金再投資基準価額は、作成期首の値を基準価額と同値にして指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

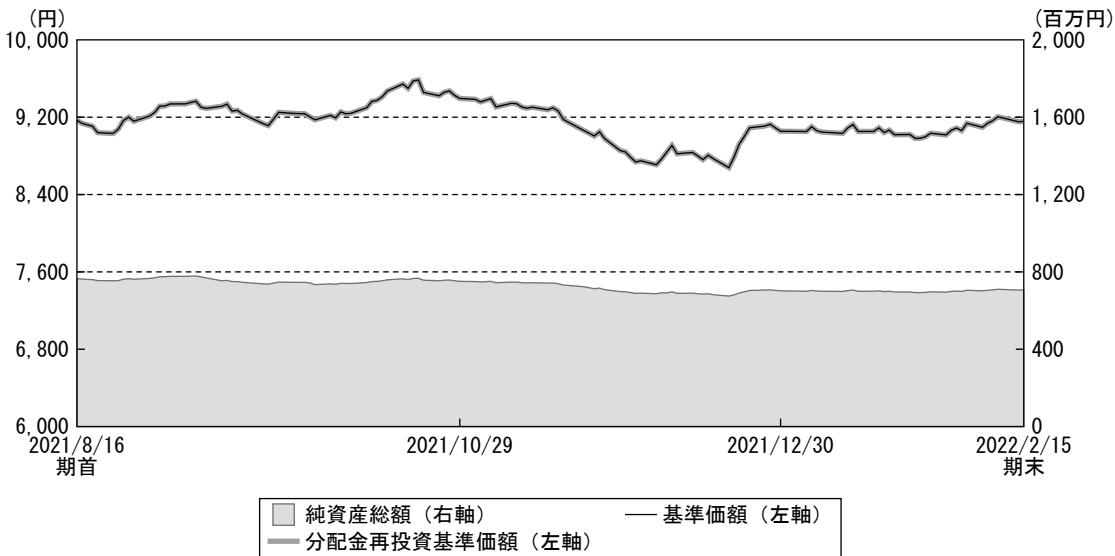
(注3) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指標がないためベンチマークおよび参考指標は設定しておりません。

基準価額の主な変動要因

当作成期は、安定したインカム・ゲインを獲得したことに加えて、為替市場において全般的に高金利通貨が対日本円で上昇したものの、一部通貨の下落幅が大きかったため、基準価額は概ね横ばいとなり、作成期首に4,503円でスタートした基準価額は作成期末には4,496円（分配金再投資ベース）となりました。

モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信（年2回決算型）

基準価額等の推移



第27期首：9,169円
第27期末：9,157円（既払分配金0円）
騰落率：△0.1%（分配金再投資ベース）

- (注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。分配金再投資基準価額は、期首の値を基準価額と同値にして指数化しています。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指標がないためベンチマークおよび参考指標は設定しておりません。

基準価額の主な変動要因

当期は、安定したインカム・ゲインを獲得したことに加えて、為替市場において全般的に高金利通貨が平均的に対日本円で上昇したものの、一部通貨の下落幅が大きかつたため、基準価額は概ね横ばいとなり、期首に9,169円でスタートした基準価額は期末には9,157円となりました。

投資環境

今後の経済の正常化が継続する中、株式市場の堅調に推移するなど良好な投資家センチメントが続く中、高金利通貨が全般的に上昇する展開となりました。特に資源価格の上昇が一部の資源国通貨のサポートとなつた一方、一部の通貨については政治リスクが懸念されたことが通貨の上昇要因となりました。

ポートフォリオ

ポートフォリオの運用においては、マザーファンドへの投資を通じて相対的に金利水準が高く為替見通しが良好な先進国と新興国の10通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行いました。投資にあたっては各マザーファンドの投資対象候補国の中から相対的に金利水準の高い通貨／国を選定し、経済ファンダメンタルズ、各国の経済・財政政策、為替のトレンド等を分析し為替見通しが良好な通貨／国を投資対象としました。

(1) 投資通貨について

期首には、マザーファンドへの投資を通じて、相対的に金利水準が高く為替見通しが良好な以下の10通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行いました。

《期首の投資対象通貨》

●モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド

オーストラリア・ドル
ニュージーランド・ドル
ノルウェー・クローネ
カナダドル
ポーランド・ズロチ

●モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド

メキシコ・ペソ
ブラジル・レアル
インドネシア・ルピア
南アフリカ・ランド
トルコ・リラ

期首より中長期的な観点からバリュエーションや相対的な金利水準、経済ファンダメンタルズ等の通貨に対する投資魅力度が変化していないと判断し投資通貨の入替を行いませんでした。

《期末の投資対象通貨》

●モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド

オーストラリア・ドル
ニュージーランド・ドル
ノルウェー・クローネ
カナダドル
ポーランド・ズロチ

●モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド

メキシコ・ペソ
ブラジル・レアル
インドネシア・ルピア
南アフリカ・ランド
トルコ・リラ

(2) 投資債券について

各国の経済動向に注視し、国債を中心に組入れつつ、インカム・ゲインを主体とした収益の獲得を目指しました。

ベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、運用の目標となるベンチマークおよび参考指標は設定しておりませんので、当項目に記載する事項はありません。

分配金

（毎月分配型）

当成期の収益分配金につきましては基準価額水準等を勘案し、1万口当たり第156期～161期各10円（作成期中合計60円）とさせていただきました。第161期におけるボーナス分配につきましては見送らせていただきました。なお、収益分配金にあてなかった利益につきましては、投資信託財産中に留保し運用の基本方針に基づいて運用いたします。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期
	(2021年8月17日～ 2021年9月15日)	(2021年9月16日～ 2021年10月15日)	(2021年10月16日～ 2021年11月15日)	(2021年11月16日～ 2021年12月15日)	(2021年12月16日～ 2022年1月17日)	(2022年1月18日～ 2022年2月15日)
当期分配金 (対基準価額比率)	10 0.220%	10 0.216%	10 0.221%	10 0.234%	10 0.227%	10 0.225%
当期の収益	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	229	237	241	243	250	255

（年2回決算型）

当期の収益分配金につきましては、基準価額水準等を勘案し、期中に生じた利子等の分配原資に関しては、収益分配を見送りました。なお、収益分配金にあてなかった利益につきましては、投資信託財産中に留保し運用の基本方針に基づいて運用いたします。

【分配原資の内訳】

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	当期
	(2021年8月17日～2022年2月15日)
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	6,704

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）当期分配金の対基準価額比率は、当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの收益率とは異なります。

（注3）「当期の収益」および「当期の収益以外」の数値は円未満を切捨てているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

今後の運用方針に関しては、運用の基本方針に基づき、マザーファンドへの投資を通じて各マザーファンドの投資対象候補国の中から相対的に金利水準の高い通貨／国を選定し、経済ファンダメンタルズ、各国の経済・財政政策、為替のトレンド等を分析し為替見通しが良好な先進国と新興国の10通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行う方針です。当面の市場環境および投資方針は以下の様に考えております。

(1) 市場環境について

マクロ環境に関しては、オミクロン新変異株をめぐる不透明感やインフレ率の高止まりが一部懸念されるものの、全般的には経済の回復が進展すると考えられます。米国等において利上げに着手する動きが見られる中、金利市場をきっかけとする市場ボラティリティの上昇には留意が必要であるものの、中長期的に懸念される程にはインフレは高まらないと考えております。そのような環境下、先進国主要中銀による金融環境に配慮した政策を背景に、特に欧州や日本の債券市場を中心とした低金利環境が続く中、高金利通貨に対しては相対的に高い利回りを求めるような投資家からの資金フローが期待されます。

新興国通貨に関しては、景気回復局面で堅調な推移となる傾向があることがポジティブ要因として考えられます。また、中長期的観点から、過去と比較して米国の実質金利が低い水準であること等は米ドル安要因として考えられ、米ドル安環境において新興国通貨がサポートされると考えられます。一方、短期的には米国の利上げおよびバランスシート縮小プロセスを今後も一部の通貨のボラティリティが高まる状況が見られる可能性は残るもの、10通貨に分散することで一部通貨の影響を軽減することが出来ると考えています。加えて、中長期的には高金利通貨への投資により比較的高いキャリーを積み上げることがパフォーマンスの下支えになると期待されます。

(2) 投資方針について

以上のような見通しのもと、当ファンドでは、相対的に高金利で経済ファンダメンタルズが良好であり、通貨見通しが良好な通貨／国へ投資を行う方針です。また、組入債券においては、各国の国債を中心に投資し、インカム・ゲインを中心に安定した収益獲得を目指す方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第156期～第161期 (2021年8月17日～2022年2月15日)		項目の概要
	金額	比率	
a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	23円 (11) (11) (1)	0.524% (0.248) (0.248) (0.028)	a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
b) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	4 (2) (1) (1)	0.089 (0.037) (0.030) (0.022)	b) その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合計	27	0.613	
当作成期中の平均基準価額は、4,456円です。			

(注1) 作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

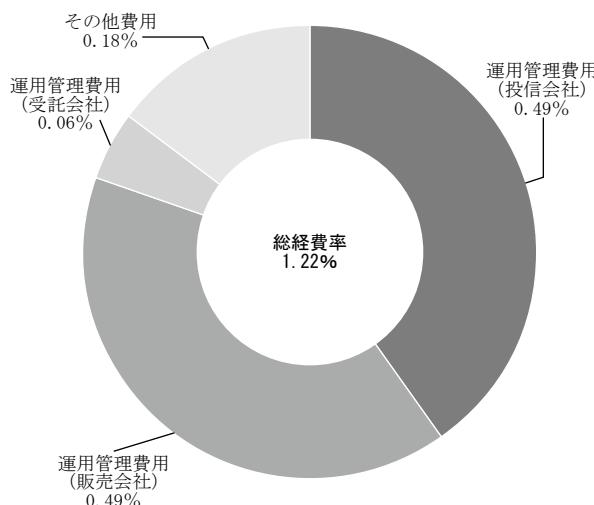
(注2) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

(注4) 「金額」欄は、各項目毎に円未満は四捨五入しております。

(参考情報) 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.22%です。



(注1) 各費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信（毎月分配型）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定、解約状況（2021年8月17日から2022年2月15日まで）

決 算 期	第 156 期 ～ 第 161 期				
	設 定		解 約		
	口 数	金 額	口 数	金 額	
モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド	千口 1,801	千円 1,986	千口 77,517	千円 85,422	
モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド	1,919	1,986	82,937	85,422	

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2021年8月17日から2022年2月15日まで）

作成期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

(2022年2月15日現在)

親投資信託残高

種 類	第 26 作 成 期 末	第 27 作 成 期 末	
	口 数	口 数	評 價 額
モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド	千口 949,506	千口 873,789	千円 960,994
モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド	990,650	909,632	945,108

(注1) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当作成期末におけるモルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド全体の口数は1,200,445千口、モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド全体の口数は1,242,065千口です。

■投資信託財産の構成

(2022年2月15日現在)

項 目	第 27 作 成 期 末	
	評 價 額	比 率
モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド	千円 960,994	% 49.6
モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド	945,108	48.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	31,625	1.6
投 資 信 託 財 产 総 額	1,937,727	100.0

(注1) モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（1,327,853千円）の投資信託財産総額（1,329,464千円）に対する比率は99.9%です。

(注2) モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（1,290,254千円）の投資信託財産総額（1,299,736千円）に対する比率は99.3%です。

(注3) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので。なお、2022年2月15日における邦貨換算レートは、1米ドル=115.42円、1カナダドル=90.68円、1メキシコペソ=5.6563円、1ブラジルレアル=22.1111円、1ノルウェークローネ=13.00円、1トルコリラ=8,4914円、1ポーランドズロチ=28.7005円、1オーストラリアドル=82.31円、1ニュージーランドドル=76.43円、100インドネシアルピア=0.81円、1南アフリカランド=7.63円です。

ミルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信（毎月分配型）

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年9月15日)、(2021年10月15日)、(2021年11月15日)、(2021年12月15日)、(2022年1月17日)、(2022年2月15日)現在

項目	第156期末	第157期末	第158期末	第159期末	第160期末	第161期末
(A) 資産	2,087,870,938円	2,108,992,462円	2,029,009,405円	1,886,080,029円	1,926,647,609円	1,937,727,588円
コール・ローン等	17,226,554	17,243,318	17,249,128	17,268,830	17,292,605	17,300,903
モルガン・スタンレー 先進国高 金利通貨マザーファンド(評価額)	1,019,759,413	1,049,797,441	1,009,982,726	962,374,960	978,048,080	960,994,198
モルガン・スタンレー 新興国高 金利通貨マザーファンド(評価額)	1,043,310,455	1,033,866,865	994,823,351	899,339,163	924,515,828	945,108,191
未収入金	7,574,516	8,084,838	6,954,200	7,097,076	6,791,096	14,324,296
(B) 負債	7,587,602	8,307,840	6,933,188	8,970,510	7,654,568	14,307,461
未払収益分配金	4,583,431	4,538,467	4,469,071	4,401,852	4,366,385	4,335,652
未払解約金	1,045,646	1,825,038	454,200	2,745,638	1,304,027	8,224,295
未払信託報酬	1,787,448	1,774,494	1,834,345	1,663,775	1,810,836	1,594,865
未払利息	40	42	47	42	42	42
その他未払費用	171,037	169,799	175,525	159,203	173,278	152,607
(C) 純資産総額(A-B)	2,080,283,336	2,100,684,622	2,022,076,217	1,877,109,519	1,918,993,041	1,923,420,127
元本	4,583,431,174	4,538,467,472	4,469,071,368	4,401,852,839	4,366,385,222	4,335,652,735
次期繰越損益金	△2,503,147,838	△2,437,782,850	△2,446,995,151	△2,524,743,320	△2,447,392,181	△2,412,232,608
(D) 受益権総口数	4,583,431,174口	4,538,467,472口	4,469,071,368口	4,401,852,839口	4,366,385,222口	4,335,652,735口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,539円	4,629円	4,525円	4,264円	4,395円	4,436円

<注記事項>

(貸借対照表関係)

1. 作成期首元本額
作成期中追加設定元本額
作成期中一部解約元本額
2. 元本の欠損
貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は2,412,232,608円（第161期末）であります。

ミルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信（毎月分配型）

■損益の状況

第156期（自2021年8月17日 至2021年9月15日）、第159期（自2021年11月16日 至2021年12月15日）
 第157期（自2021年9月16日 至2021年10月15日）、第160期（自2021年12月16日 至2022年1月17日）
 第158期（自2021年10月16日 至2021年11月15日）、第161期（自2022年1月18日 至2022年2月15日）

項目	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期
(A) 配当等収益	△1,316円	△1,317円	△1,436円	△1,352円	△1,400円	△1,203円
支 払 利 息	△1,316	△1,317	△1,436	△1,352	△1,400	△1,203
(B) 有価証券売買損益	23,000,502	47,266,332	△40,048,493	△108,367,281	63,341,899	24,001,365
売 買 益	23,352,166	47,656,209	280,785	1,131,139	63,603,059	30,903,951
売 買 損	△351,664	△389,877	△40,329,278	△109,498,420	△261,160	△6,902,586
(C) 信託報酬等	△1,958,485	△1,944,293	△2,009,870	△1,822,978	△1,984,114	△1,747,472
(D) 当期損益金(A+B+C)	21,040,701	45,320,722	△42,059,799	△110,191,611	61,356,385	22,252,690
(E) 前期継越損益金	△2,043,099,607	△2,006,098,297	△1,934,631,377	△1,950,698,337	△2,047,939,619	△1,976,169,567
(F) 追加信託差損益金	△476,505,501	△472,466,808	△465,834,904	△459,451,520	△456,442,562	△453,980,079
(配当等相当額)	(4,721,803)	(4,708,264)	(4,668,692)	(4,632,032)	(4,630,247)	(4,638,264)
(売買損益相当額)	(△481,227,304)	(△477,175,072)	(△470,503,596)	(△464,083,552)	(△461,072,809)	(△458,618,343)
(G) 計(D+E+F)	△2,498,564,407	△2,433,244,383	△2,442,526,080	△2,520,341,468	△2,443,025,796	△2,407,896,956
(H) 収益分配金	△4,583,431	△4,538,467	△4,469,071	△4,401,852	△4,366,385	△4,335,652
次期継越損益金(G+H)	△2,503,147,838	△2,437,782,850	△2,446,995,151	△2,524,743,320	△2,447,392,181	△2,412,232,608
追加信託差損益金	△476,505,501	△472,466,808	△465,834,904	△459,451,520	△456,442,562	△453,980,079
(配当等相当額)	(4,723,068)	(4,709,646)	(4,669,847)	(4,633,197)	(4,631,484)	(4,639,600)
(売買損益相当額)	(△481,228,569)	(△477,176,454)	(△470,504,751)	(△464,084,717)	(△461,074,046)	(△458,619,679)
分配準備積立金	100,498,155	103,025,435	103,118,228	102,437,072	104,562,654	106,225,492
継 越 損 益 金	△2,127,140,492	△2,068,341,477	△2,084,278,475	△2,167,728,872	△2,095,512,273	△2,064,478,021

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

(損益および剩余金計算書関係)

分配金の計算過程

第156期計算期間末における費用控除後の配当等収益(6,901,950円)、費用控除後の有価証券等損益額(−円)、信託約款に規定する収益調整金(4,723,068円)および分配準備積立金(98,179,636円)より分配対象収益は109,804,654円(10,000口当たり239円)であり、うち4,583,431円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

第157期計算期間末における費用控除後の配当等収益(8,055,978円)、費用控除後の有価証券等損益額(−円)、信託約款に規定する収益調整金(4,709,646円)および分配準備積立金(99,507,924円)より分配対象収益は112,273,548円(10,000口当たり247円)であり、うち4,538,467円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

第158期計算期間末における費用控除後の配当等収益(6,127,276円)、費用控除後の有価証券等損益額(−円)、信託約款に規定する収益調整金(4,669,847円)および分配準備積立金(101,460,023円)より分配対象収益は112,257,146円(10,000口当たり251円)であり、うち4,469,071円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

第159期計算期間末における費用控除後の配当等収益(5,263,347円)、費用控除後の有価証券等損益額(−円)、信託約款に規定する収益調整金(4,633,197円)および分配準備積立金(101,575,577円)より分配対象収益は111,472,121円(10,000口当たり253円)であり、うち4,401,852円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

第160期計算期間末における費用控除後の配当等収益(7,334,006円)、費用控除後の有価証券等損益額(−円)、信託約款に規定する収益調整金(4,631,484円)および分配準備積立金(101,595,033円)より分配対象収益は113,560,523円(10,000口当たり260円)であり、うち4,366,385円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

第161期計算期間末における費用控除後の配当等収益(6,756,765円)、費用控除後の有価証券等損益額(−円)、信託約款に規定する収益調整金(4,639,600円)および分配準備積立金(103,804,379円)より分配対象収益は115,200,744円(10,000口当たり265円)であり、うち4,335,652円(10,000口当たり10円)を分配金額としております。

ミルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信（毎月分配型）

■分配金

1万口当たり分配金（税込み）	第156期	第157期	第158期	第159期	第160期	第161期
	10円	10円	10円	10円	10円	10円

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と特別分配金にわかれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が特別分配金、残りの部分が普通分配金となります。
- ・特別分配金が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該特別分配金を控除した額が、その後個々の受益者の個別元本となります。

■お知らせ

該当事項はありません。

ミルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信（年2回決算型）

■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期 (2021年8月17日～2022年2月15日)		項目の概要
	金額	比率	
a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	48円 (23) (23) (3)	0.524% (0.248) (0.248) (0.028)	a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
b) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	8 (3) (5) (0)	0.089 (0.037) (0.050) (0.002)	b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合計	56	0.613	

当期中の平均基準価額は、9,126円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

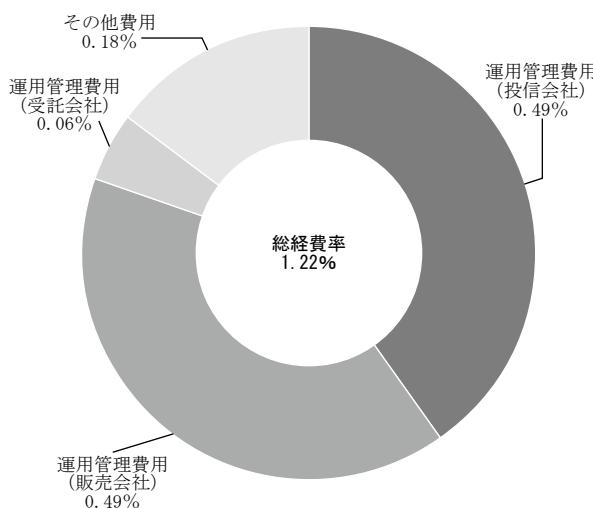
(注2) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注4) 「金額」欄は、各項目毎に円未満は四捨五入しています。

（参考情報） 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.22%です。



(注1) 各費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信（年2回決算型）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定、解約状況（2021年8月17日から2022年2月15日まで）

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド	千口 563	千円 620	千口 29,040	千円 31,728
モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド	604	620	30,831	31,728

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況（2021年8月17日から2022年2月15日まで）

期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

(2022年2月15日現在)

親投資信託残高

種 類	期 首 (前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 價 額
モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド	千口 355,133	千口 326,655	千円 359,256
モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド	362,659	332,433	345,398

(注1) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末におけるモルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド全体の口数は1,200,445千口、モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド全体の口数は1,242,065千口です。

■投資信託財産の構成

(2022年2月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 價 額	比 率
モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド	千円 359,256	% 50.5
モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド	345,398	48.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	6,119	0.9
投 資 信 託 財 产 総 額	710,773	100.0

(注1) モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（1,327,853千円）の投資信託財産総額（1,329,464千円）に対する比率は99.9%です。

(注2) モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（1,290,254千円）の投資信託財産総額（1,299,736千円）に対する比率は99.3%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので。なお、2022年2月15日現在における邦貨換算レートは、1米ドル=115.42円、1カナダドル=90.68円、1メキシコペソ=5.6563円、1ブラジルレアル=22.1111円、1ノルウェークローネ=13.00円、1トルコリラ=8.4914円、1ポーランドズロチ=28.7005円、1オーストラリアドル=82.31円、1ニュージーランドドル=76.43円、100インドネシアルピア=0.81円、1南アフリカランド=7.63円です。

モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信（年2回決算型）

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2022年2月15日) 現在

項目	当期末
(A) 資産	710,773,309円
コール・ローン等	1,938,823
モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド(評価額)	359,256,170
モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド(評価額)	345,398,316
未収入金	4,180,000
(B) 負債	4,179,218
未払信託報酬	3,814,271
未払利息	4
その他未払費用	364,943
(C) 純資産総額(A-B)	706,594,091
元本	771,604,157
次期繰越損益金	△65,010,066
(D) 受益権総口数	771,604,157口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,157円

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等は信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金は、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

(貸借対照表関係)

1. 期首元本額	835,405,839円
期中追加設定元本額	1,358,256円
期中一部解約元本額	65,159,938円
2. 元本の欠損	
貸借対照表上の純資産額が元本総額を下回っており、その差額は65,010,066円であります。	

■損益の状況

当期 (自2021年8月17日 至2022年2月15日)

項目	当期
(A) 配当等収益 支払利息	△814円 △814
(B) 有価証券売買損益 売買益 売買損	3,235,047 6,747,663 △3,512,616
(C) 信託報酬等	△4,179,214
(D) 当期損益金(A+B+C)	△944,981
(E) 前期繰越損益金	△44,133,320
(F) 追加信託差損益金 (配当等相当額) (売買損益相当額)	△19,931,765 (41,648,170) (△61,579,935)
(G) 計(D+E+F)	△65,010,066
(H) 収益分配金 次期繰越損益金(G+H) 追加信託差損益金 (配当等相当額) (売買損益相当額)	0 △65,010,066 △19,931,765 (41,650,593) (△61,582,358)
分配準備積立金	475,709,392
繰越損益金	△520,787,693

(損益及び剰余金計算書関係)

分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(12,188,949円)、費用控除後の有価証券等損益額(-円)、信託約款に規定する収益調整金(41,650,593円)および分配準備積立金(463,520,443円)より分配対象収益は517,359,985円(10,000口当たり6,704円)であるが、基準価額水準、市況動向及び収益分配方針を勘案し、分配を行っておりません。

■分配金

1万口当たり分配金(税込み)

0円

- 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と特別分配金にわかれます。
- 分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が特別分配金、残りの部分が普通分配金となります。
- 特別分配金が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該特別分配金を控除した額が、その後個々の受益者の個別元本となります。

■お知らせ

該当事項はありません。

モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信（毎月分配型）（年2回決算型）

＜参考情報＞

■組入資産の明細（2022年2月15日現在）

下記は、モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド全体（1,200,445千口）の内容です。

公社債

A 債券種類別開示

外国（外貨建）公社債

区分	第27作成期末（毎月分配型）／第27期末（年2回決算型）							
	額面金額	評価額		組入比率	うちB級以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年末満
カナダ	千カナダドル 2,900	千カナダドル 2,905	千円 263,508	% 20.0	% —	% —	% —	% 20.0
ノルウェー	千ノルウェークローネ 19,620	千ノルウェークローネ 19,773	257,049	19.5	—	—	—	19.5
ポーランド	千ポーランドズロチ 9,150	千ポーランドズロチ 9,046	259,628	19.7	—	—	—	19.7
オーストラリア	千オーストラリアドル 3,140	千オーストラリアドル 3,184	262,138	19.9	—	—	—	19.9
ニュージーランド	千ニュージーランドドル 3,500	千ニュージーランドドル 3,365	257,254	19.5	—	—	19.5	—
合計	—	—	1,299,580	98.4	—	—	19.5	79.0

(注1) 邦貨換算金額は、作成期末（毎月分配型）／期末（年2回決算型）の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもの。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額・評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 一印は組入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

B 個別銘柄開示

外国（外貨建）公社債

銘柄	第27作成期末（毎月分配型）／第27期末（年2回決算型）					
	種類	利率	額面金額	評価額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(カナダ) CANADA	国債証券	% 1.5	千カナダドル 2,900	千カナダドル 2,905	千円 263,508	2022/5/1
小計					263,508	
(ノルウェー) NORWAY	国債証券	2.0	千ノルウェークローネ 19,620	千ノルウェークローネ 19,773	257,049	2023/5/24
小計					257,049	
(ポーランド) POLAND	国債証券	-	千ポーランドズロチ 9,150	千ポーランドズロチ 9,046	259,628	2022/7/25
小計					259,628	
(オーストラリア) AUSTRALIA	国債証券	2.25	千オーストラリアドル 3,140	千オーストラリアドル 3,184	262,138	2022/11/21
小計					262,138	
(ニュージーランド) NEW ZEALAND	国債証券	0.5	千ニュージーランドドル 3,500	千ニュージーランドドル 3,365	257,254	2024/5/15
小計					257,254	
合計					1,299,580	

（注1）邦貨換算金額は、作成期末（毎月分配型）／期末（年2回決算型）の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものであります。

（注2）額面・評価額の単位未満は切捨てであります。

モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信（毎月分配型）（年2回決算型）

＜参考情報＞

■組入資産の明細（2022年2月15日現在）

下記は、モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド全体（1,242,065千口）の内容です。

公社債

A 債券種類別開示

外国（外貨建）公社債

区分	第27作成期末（毎月分配型）／第27期末（年2回決算型）							
	額面金額	評価額		組入比率	うちB級以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年末満
メキシコ	千メキシコペソ 44,901	千メキシコペソ 44,932	千円 254,149	% 19.7	% —	% —	% —	% 19.7
ブラジル	千ブラジルレアル 12,545	千ブラジルレアル 12,298	千円 271,926	% 21.1	% 21.1	% —	% —	% 21.1
トルコ	千トルコリラ 28,310	千トルコリラ 27,049	千円 229,684	% 17.8	% 17.8	% —	% —	% 17.8
インドネシア	千インドネシアルピア 28,355,000	千インドネシアルピア 30,644,666	千円 248,221	% 19.2	% —	% —	% 19.2	% —
南アフリカ	千南アフリカランド 31,940	千南アフリカランド 32,703	千円 249,526	% 19.3	% 19.3	% —	% —	% 19.3
合計	—	—	1,253,509	97.1	58.2	—	19.2	77.9

(注1) 邦貨換算金額は、作成期末（毎月分配型）／期末（年2回決算型）の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもの。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額・評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 一印は組入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

B 個別銘柄開示

外国（外貨建）公社債

銘柄	第27作成期末（毎月分配型）／第27期末（年2回決算型）					
	種類	利率	額面金額	評価額	償還年月日	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(メキシコ) MEXICO MEXICO	国債証券	% 6.5 8.0	千メキシコペソ 24,863 20,038	千メキシコペソ 24,831 20,100	千円 140,455 113,694	2022/6/9 2023/12/7
小計					254,149	
(ブラジル) BRAZIL	国債証券	10.0	千ブラジルレアル 12,545	千ブラジルレアル 12,298	271,926	2023/1/1
小計					271,926	
(トルコ) TURKEY TURKEY	国債証券	8.5 12.2	千トルコリラ 6,350 21,960	千トルコリラ 6,099 20,949	51,790 177,893	2022/9/14 2023/1/18
小計					229,684	
(インドネシア) INDONESIA	国債証券	8.375	千インドネシアルピア 28,355,000	千インドネシアルピア 30,644,666	248,221	2024/3/15
小計					248,221	
(南アフリカ) SOUTH AFRICA	国債証券	7.75	千南アフリカランド 31,940	千南アフリカランド 32,703	249,526	2023/2/28
小計					249,526	
合計					1,253,509	

（注1）邦貨換算金額は、作成期末（毎月分配型）／期末（年2回決算型）の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもの。

（注2）額面・評価額の単位未満は切捨て。

モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド 第13期
決算日 2021年8月16日／計算期間（2020年8月18日から2021年8月16日まで）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として、世界先進主要国の中で相対的に金利水準が高い通貨の中から、為替見通しを勘案して複数の通貨を選定し、当該通貨建ての債券および短期金融商品等に投資を行うことにより、安定したインカムゲインの獲得と中長期的な投資信託財産の成長を目指します。 国別のファンダメンタルズ分析を行い、債券および通貨のバリュエーション分析等に基づいて国および銘柄を選定します。 市況動向、資金動向、投資環境の変化等により、上記のような運用ができない場合があります。
主要運用対象	世界先進主要国の債券および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。 株式への投資は、新株予約権付社債等の権利行使により取得した株券等に限ります。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

■運用経過（2020年8月18日から2021年8月16日まで）

基準価額の主な変動要因

当期は、為替市場において高金利通貨が平均的に対日本円で上昇したことや、安定したインカム・ゲインを獲得したことで、基準価額は上昇し、期首に10,396円でスタートした基準価額は期末には10,833円となりました。

投資環境

当初は新型コロナウイルスの感染動向や経済への悪影響が懸念されましたが、各国における金融緩和や財政面での各種支援策などを背景に、景気の回復が期待される中、高金利通貨は上昇する展開となりました。また、リフレ色が強まる中、コモディティ価格が上昇したことでも、高金利通貨のサポート要因となりました。

ポートフォリオ

ポートフォリオの運用においては、相対的に金利水準が高く為替見通しが良好な先進国の5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行いました。投資にあたっては先進国通貨の中から相対的に金利水準の高い通貨／国を選定し、経済ファンダメンタルズ、各国の経済・財政政策、為替のトレンド等を分析し為替見通しが良好な通貨／国を投資対象としました。



(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指標がないためベンチマークおよび参考指標は設定しておりません。

(1) 投資通貨について

期首時には、相対的に金利水準が高く為替見通しが良好な以下の5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行いました。

《期首の投資対象通貨》

●モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド

オーストラリア・ドル
ニュージーランド・ドル
ノルウェー・クローネ
米ドル
ポーランド・ズロチ

今期については、米ドルからカナダ・ドルへの入れ替えを行いました。カナダについては、2020年には経済の大きな落ち込みが見られた一方で、ワクチン接種の拡大や、金融政策及び財政政策による後押しにより2021年以降は力強い景気回復が見込まれます。加えて、グローバルに景気の回復傾向が見込まれる局面では、資源に対する需要の高まりを背景に、同国的主要輸出産品である原油価格にも上昇圧力が加わる可能性が想定され、同国経済やカナダ・ドルがサポートされると考えられます。

以上の投資行動の結果、期末時点では、以下の5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行っております。

《期末の投資対象通貨》

●モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド

オーストラリア・ドル
ニュージーランド・ドル
ノルウェー・クローネ
カナダ・ドル
ポーランド・ズロチ

(2) 投資債券について

国債を中心に入れつつ、流動性が高く信用力も高いものの、国債よりも高い利回りを有していた国際機関債へ一部投資を行い、より高いインカム・ゲインの収益獲得を目指しました。

ベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、運用の目標となるベンチマークおよび参考指数は設定しておりませんので、当項目に記載する事項はありません。

■今後の運用方針

今後の運用方針に関しては、運用の基本方針に基づき、先進国通貨の投資対象候補国の中から相対的に金利水準の高い通貨／国を選定し、経済ファンダメンタルズ、各国の経済・財政政策、為替のトレンド等を分析し為替見通しが良好な5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行う方針です。当面の市場環境および投資方針は以下の様に考えております。

(1) 市場環境について

マクロ環境に関しては、グローバルでのワクチン接種の拡大により経済の正常化が進展し、景気回復の加速が想定されます。短期的には感染再拡大に伴う不透明感の一方で、これまでの景気回復の進展等を受け、米国等において量的緩和政策の縮小等の議論が進む可能性があり、金融政策の動向次第では、金利市場をきっかけとする市場ボラティリティの上昇には留意が必要と考えています。しかし、大幅な需給ギャップ等を背景に、中長期的に懸念される程にはインフレは高まらないと考えております。そのような環境下、先進国主要中銀による緩和的な金融政策が長期化し、特に欧州や日本の債券市場を中心とした低金利環境が続く中、高金利通貨に対しては相対的に高い利回りを求めるような投資家からの資金フローが期待されます。

(2) 投資方針について

以上のような見通しのもと、当ファンドでは、相対的に高金利で経済ファンダメンタルズが良好であり、通貨見通しが良好な通貨／国へ投資を行う方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額			債券組入比率	債券先物比率
		騰	落		
(期 首) 2020年 8月17日	円 10,396		% —	% 97.6	% —
8月末	10,434		0.4	97.7	—
9月末	10,125		△2.6	97.6	—
10月末	9,931		△4.5	98.2	—
11月末	10,368		△0.3	98.1	—
12月末	10,509		1.1	98.7	—
2021年 1月末	10,588		1.8	97.8	—
2月末	10,906		4.9	98.1	—
3月末	11,056		6.3	97.7	—
4月末	11,270		8.4	98.0	—
5月末	11,372		9.4	99.1	—
6月末	11,129		7.1	98.6	—
7月末	10,895		4.8	99.1	—
(期 末) 2021年 8月16日	10,833		4.2	98.5	—

(注1) 謄落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注3) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指標がないためベンチマークおよび参考指標は設定しておりません。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2020年8月18日～2021年8月16日)	金額	
その他費用 (保管費用)	4円 (4)	0.034% (0.034)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務処理に要するその他の諸費用
合計	4	0.034	

当期中の平均基準価額は、10,715円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

(注3) 「金額」欄は、各項目毎に円未満は四捨五入しております。

ミルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド

■売買および取引の状況（2020年8月18日から2021年8月16日まで）

公社債

		買付額	売付額
外 国	アメリカ	千米ドル 3,149	千米ドル 6,065
	カナダ	千カナダドル 3,563	千カナダドル 351
	ノルウェー	千ノルウェークローネ 22,677	千ノルウェークローネ 27,399
	ポーランド	千ポーランドズロチ 21,365	千ポーランドズロチ 12,569 (9,760)
	オーストラリア	千オーストラリアドル 4,182	千オーストラリアドル 5,020
	ニュージーランド	千ニュージーランドドル 3,793	千ニュージーランドドル 743 (3,750)

(注1) 金額は受渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) () 内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■利害関係人との取引状況等（2020年8月18日から2021年8月16日まで）

期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド

■組入資産の明細（2021年8月16日現在）

公社債

(A) 債券種類別開示

外国（外貨建）公社債

区分	当期						期末		
	額面金額	評価額		組入比率	うちB級以下組入比率	残存期間別組入比率			% 19.8
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満	
カナダ	千カナダドル 3,190	千カナダドル 3,197	千円 279,322	% 19.8	% —	% —	% —	% 19.8	
ノルウェー	千ノルウェークローネ 21,860	千ノルウェークローネ 22,381	277,972	19.7	—	—	—	—	19.7
ポーランド	千ポーランドズロチ 9,926	千ポーランドズロチ 9,929	280,852	19.9	—	—	—	—	19.9
オーストラリア	千オーストラリアドル 3,400	千オーストラリアドル 3,423	275,695	19.5	—	—	—	—	19.5
ニュージーランド	千ニュージーランドドル 3,690	千ニュージーランドドル 3,621	278,903	19.7	—	—	19.7	—	
合計	—	—	1,392,745	98.5	—	—	19.7	78.8	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額・評価額の単位未満は切捨て。

(注4) —印は組入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 個別銘柄開示

外国（外貨建）公社債

銘柄	当期						末	
	種類	利率	額面金額	評価額		償還年月日		
				外貨建金額	邦貨換算金額			
(カナダ) CANADA	国債証券	% 1.25	千カナダドル 3,190	千カナダドル 3,197	千円 279,322	2021/11/1		
小計					279,322			
(ノルウェー) NORWAY	国債証券	2.0	千ノルウェークローネ 21,860	千ノルウェークローネ 22,381	277,972	2023/5/24		
小計					277,972			
(ポーランド) POLAND	国債証券	—	千ポーランドズロチ 9,926	千ポーランドズロチ 9,929	280,852	2022/7/25		
小計					280,852			
(オーストラリア) AUSTRALIA	国債証券	2.0	千オーストラリアドル 3,400	千オーストラリアドル 3,423	275,695	2021/12/21		
小計					275,695			

ミルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド

銘柄	当期末					
	種類	利率	額面金額	評価額		償還年月日
		%	千ニュージーランドドル	外貨建金額	邦貨換算金額	
(ニュージーランド) NEWZEALAND	国債証券	0.5	3,690	3,621	278,903	2024/5/15
小計					278,903	
合計					1,392,745	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨てて。

■投資信託財産の構成

(2021年8月16日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
公社債	千円 1,392,745	% 98.1
コール・ローン等、その他	26,318	1.9
投資信託財産総額	1,419,063	100.0

(注1) 当期末における外貨建純資産(1,396,219千円)の投資信託財産総額(1,419,063千円)に対する比率は98.4%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2021年8月16日における邦貨換算レートは、1カナダドル=87.36円、1ノルウェークローネ=12.42円、1ポーランドズロチ=28.2858円、1オーストラリアドル=80.53円、1ニュージーランドドル=77.01円です。

モルガン・スタンレー 先進国高金利通貨マザーファンド

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年8月16日) 現在

項目	当期末
(A) 資産	1,419,063,079円
コール・ローン等	22,844,664
公社債(評価額)	1,392,745,689
未収利息	3,453,421
前払費用	19,305
(B) 負債	5,781,856
未払解約金	5,781,800
未払利息	56
(C) 純資産総額(A-B)	1,413,281,223
元本	1,304,639,654
次期繰越損益金	108,641,569
(D) 受益権総口数	1,304,639,654口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,833円

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等は、外貨建資産の保管に係る費用等です。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

(貸借対照表関係)

期首元本額

期中追加設定元本額

期中一部解約元本額

期末における元本の内訳

モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信（毎月分配型）

モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信（年2回決算型）

期末元本額合計

1,591,550,214円

19,643,505円

306,554,065円

949,506,188円

355,133,466円

1,304,639,654円

■損益の状況

当期 (自2020年8月18日 至2021年8月16日)

項目	当期
(A) 配当等収益	41,845,306円
受取利息	41,850,121
その他の収益金	16
支払利息	△4,831
(B) 有価証券売買損益	21,468,186
売買益	71,685,552
売買損	△50,217,366
(C) 信託報酬等	△521,128
(D) 当期損益金(A+B+C)	62,792,364
(E) 前期繰越損益金	62,978,886
(F) 追加信託差損益金	1,633,816
(G) 解約差損益金	△18,763,497
(H) 計(D+E+F+G)	108,641,569
次期繰越損益金(H)	108,641,569

■お知らせ

該当事項はありません。

モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド 第13期
決算日 2021年8月16日／計算期間（2020年8月18日から2021年8月16日まで）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として、新興国の中で相対的に金利水準が高い通貨の中から、為替見通しを勘案して複数の通貨を選定し、当該通貨建ての債券および短期金融商品等に投資を行うことにより、安定したインカムゲインの獲得と中長期的な投資信託財産の成長を目指します。 国別のファンダメンタルズ分析を行い、債券および通貨のバリュエーション分析等に基づいて国および銘柄を選定します。 市況動向、資金動向、投資環境の変化等により、上記のような運用ができない場合があります。
主要運用対象	新興国の債券および短期金融商品を主要投資対象とします。
組入制限	株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。 株式への投資は、新株予約権付社債等の権利行使により取得した株券等に限ります。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

■運用経過（2020年8月18日から2021年8月16日まで）

基準価額の主な変動要因

当期は、安定したインカム・ゲインを獲得した一方で、為替市場において高金利通貨が平均的に対日本円で上昇したため、基準価額は上昇し、期首に9,441円でスタートした基準価額は期末には10,459円となりました。

投資環境

当初は新型コロナウイルスの感染動向や経済への悪影響が懸念されましたが、各国における金融緩和や財政面での各種支援策などを背景に、景気の回復が期待される中、高金利通貨は上昇する展開となりました。また、リフレ色が強まる中、コモディティ価格が上昇したこと、高金利通貨のサポート要因となりました。

ポートフォリオ

ポートフォリオの運用においては、相対的に金利水準が高く為替見通しが良好な新興国の5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行いました。投資にあたっては新興国通貨の中から相対的に金利水準の高い通貨／国を選定し、経済ファンダメンタルズ、各国の経済・財政政策、為替のトレンド等を分析し為替見通しが良好な通貨／国を投資対象としました。



(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指標がないためベンチマークおよび参考指標は設定しておりません。

モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド

(1) 投資通貨について

期首時には、相対的に金利水準が高く為替見通しが良好な以下の5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行いました。

《期首の投資対象通貨》

●モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド

メキシコ・ペソ
ブラジル・レアル
インドネシア・ルピア
南アフリカ・ランド
トルコ・リラ

期首より中長期的な観点からバリュエーションや相対的な金利水準、経済ファンダメンタルズ等の通貨に対する投資魅力度が変化していないと判断し投資通貨の入替を行いませんでした。

以上の投資行動の結果、期末時点では、以下の5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行っております。

《期末の投資対象通貨》

●モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド

メキシコ・ペソ
ブラジル・レアル
インドネシア・ルピア
南アフリカ・ランド
トルコ・リラ

(2) 投資債券について

各国の経済動向に注視し、国債を中心に組入れつつ、インカム・ゲインを主体とした収益の獲得を目指しました。

ベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、運用の目標となるベンチマークおよび参考指数は設定しておりませんので、当項目に記載する事項はありません。

■今後の運用方針

今後の運用方針に関しては、運用の基本方針に基づき、新興国通貨の投資対象候補国の中から相対的に金利水準の高い通貨／国を選定し、経済ファンダメンタルズ、各国の経済・財政政策、為替のトレンド等を分析し為替見通しが良好な5通貨へ配分が概ね均等となるように投資を行う方針です。当面の市場環境および投資方針は以下の様に考えております。

(1) 市場環境について

マクロ環境に関しては、グローバルでのワクチン接種の拡大により経済の正常化が進展し、景気回復の加速が想定されます。短期的には感染再拡大に伴う不透明感の一方で、これまでの景気回復の進展等を受け、米国等において量的緩和政策の縮小等の議論が進む可能性があり、金融政策の動向次第では、金利市場をきっかけとする市場ボラティリティの上昇には留意が必要と考えています。しかし、大幅な需給ギャップ等を背景に、中長期的に懸念される程にはインフレは高まらないと考えております。そのような環境下、先進国主要中銀による緩和的な金融政策が長期化し、特に欧州や日本の債券市場を中心とした低金利環境が続く中、高金利通貨に対しては相対的に高い利回りを求めるような投資家からの資金フローが期待されます。

新興国に関しては、先進国の緩和的な金融政策の継続に加えて、新興国通貨は景気回復局面で堅調な推移となる傾向があることもポジティブな要因として考えられます。中長期的観点から、米国の実質金利が依然として低いこと等は米ドル安要因として考えられ、米ドル安が進展することは新興国通貨のサポート要因として考えられます。一方、短期的には米国の量的緩和政策の縮小や利上げ開始時期などに不透明感があることに留意が必要と考えています。

(2) 投資方針について

以上のような見通しのもと、当ファンドでは、相対的に高金利で経済ファンダメンタルズが良好であり、通貨見通しが良好な通貨／国へ投資を行う方針です。また、組入れ債券においては、各国の国債へ投資を行いつつインカム・ゲインを主体とした収益の獲得を目指し、各国の金融政策動向を分析することでキャピタル・ゲインからの収益獲得も目指す方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

■当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額			債 券 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰	落		
(期首) 2020年8月17日	円 9,441		% —	% 97.8	% —
8月末	9,499	0.6		97.5	—
9月末	9,270	△1.8		97.0	—
10月末	9,188	△2.7		96.9	—
11月末	9,770	3.5		95.7	—
12月末	10,015	6.1		96.6	—
2021年1月末	9,968	5.6		97.3	—
2月末	10,070	6.7		97.4	—
3月末	10,066	6.6		75.9	—
4月末	10,340	9.5		96.9	—
5月末	10,497	11.2		96.0	—
6月末	10,623	12.5		97.0	—
7月末	10,547	11.7		97.4	—
(期末) 2021年8月16日	10,459	10.8		97.2	—

(注1) 謄落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注3) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指標がないためベンチマークおよび参考指標は設定しておりません。

■1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2020年8月18日～2021年8月16日)	金額	
その他費用 (保管費用)	10円 (10)	0.096% (0.096)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務処理に要するその他の諸費用
合計	10	0.096	

当期中の平均基準価額は、9,987円です。

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

(注3) 「金額」欄は、各項目毎に円未満は四捨五入しています。

ミルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド

■売買および取引の状況（2020年8月18日から2021年8月16日まで）

公社債

			買付額	売付額
外 国	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ 1,064	千メキシコペソ 8,425
	ブラジル	国債証券	千ブラジルレアル 558	千ブラジルレアル 551
	トルコ	国債証券	千トルコリラ 4,637	千トルコリラ —
	インドネシア	国債証券	千インドネシアルピア 36,672,450	千インドネシアルピア 2,469,617 (35,345,000)
	南アフリカ	国債証券	千南アフリカランド 38,119	千南アフリカランド 5,720 (40,290)

(注1) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注2) 単位未満は切捨て。

(注3) () 内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■利害関係人との取引状況等（2020年8月18日から2021年8月16日まで）

期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2021年8月16日現在）

公社債

(A) 債券種類別開示

外国（外貨建）公社債

区分	当期					期末		
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年末満
メキシコ	千メキシコペソ 51,100	千メキシコペソ 51,529	千円 283,761	% 20.0	% —	% —	% 0.4	% 19.6
ブラジル	千ブラジルレアル 12,545	千ブラジルレアル 12,770	266,401	18.8	18.8	—	—	18.8
トルコ	千トルコリラ 22,970	千トルコリラ 21,472	276,342	19.5	19.5	—	—	19.5
インドネシア	千インドネシアルピア 33,500,000	千インドネシアルピア 36,724,375	279,105	19.7	—	—	19.7	—
南アフリカ	千南アフリカランド 34,940	千南アフリカランド 36,341	270,019	19.1	19.1	—	—	19.1
合計	—	—	1,375,630	97.2	57.4	—	20.1	77.1

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額・評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 一印は組入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

ミルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド

(B) 個別銘柄開示

外国（外貨建）公社債

銘柄	当期末					
	種類	利率	額面金額	評価額	外貨建金額	邦貨換算金額
(メキシコ) MEXICO	国債証券	% 7.25	千メキシコペソ 23,405	千メキシコペソ 23,562	千円 129,753	2021/12/9
MEXICO		6.5	26,693	26,918	148,235	2022/6/9
MEXICO		8.0	1,002	1,048	5,771	2023/12/7
小計					283,761	
(ブラジル) BRAZIL	国債証券	10.0	千ブラジルレアル 12,545	千ブラジルレアル 12,770	266,401	2023/1/1
小計					266,401	
(トルコ) TURKEY	国債証券	9.2	千トルコリラ 3,200	千トルコリラ 3,172	40,833	2021/9/22
TURKEY		8.5	6,350	5,778	74,368	2022/9/14
TURKEY		12.2	13,420	12,520	161,140	2023/1/18
小計					276,342	
(インドネシア) INDONESIA	国債証券	8.375	千インドネシアルピア 33,500,000	千インドネシアルピア 36,724,375	279,105	2024/3/15
小計					279,105	
(南アフリカ) SOUTH AFRICA	国債証券	7.75	千南アフリカランド 34,940	千南アフリカランド 36,341	270,019	2023/2/28
小計					270,019	
合計					1,375,630	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

(2021年8月16日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
公社債	千円 1,375,630	% 96.8
コール・ローン等、その他	45,638	3.2
投資信託財産総額	1,421,268	100.0

(注1) 当期末における外貨建純資産(1,406,810千円)の投資信託財産総額(1,421,268千円)に対する比率は99.0%です。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したもので。なお、2021年8月16日における邦貨換算レートは、1米ドル=109.51円、1メキシコペソ=5.5068円、1ブラジルレアル=20.8608円、1トルコリラ=12.8698円、100インドネシアルピア=0.76円、1南アフリカランド=7.43円です。

モルガン・スタンレー 新興国高金利通貨マザーファンド

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年8月16日) 現在

項目	当期末
(A) 資産	1,421,268,964円
コール・ローン等	14,947,898
公社債(評価額)	1,375,630,030
未収利息	22,742,048
前払費用	7,948,988
(B) 負債	5,781,835
未払解約金	5,781,800
未払利息	35
(C) 純資産総額(A-B)	1,415,487,129
元本	1,353,310,309
次期繰越損益金	62,176,820
(D) 受益権総口数	1,353,310,309口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,459円

■損益の状況

当期 (自2020年8月18日 至2021年8月16日)

項目	当期
(A) 配当等収益	122,605,097円
受取利息	122,607,923
支払利息	△2,826
(B) 有価証券売買損益	27,568,817
売買益	133,016,393
売買損	△105,447,576
(C) 信託報酬等	△1,389,677
(D) 当期損益金(A+B+C)	148,784,237
(E) 前期繰越損益金	△84,170,757
(F) 追加信託差損益金	829,677
(G) 解約差損益金	△3,266,337
(H) 計(D+E+F+G)	62,176,820
次期繰越損益金(H)	62,176,820

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等は、外貨建資産の保管に係る費用等です。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

(貸借対照表関係)

期首元本額	1,507,045,922円
期中追加設定元本額	20,457,644円
期中一部解約元本額	174,193,257円
期末における元本の内訳	
モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信(毎月分配型)	990,650,450円
モルガン・スタンレー 世界高金利通貨投信(年2回決算型)	362,659,859円
期末元本額合計	1,353,310,309円

■お知らせ

該当事項はありません。